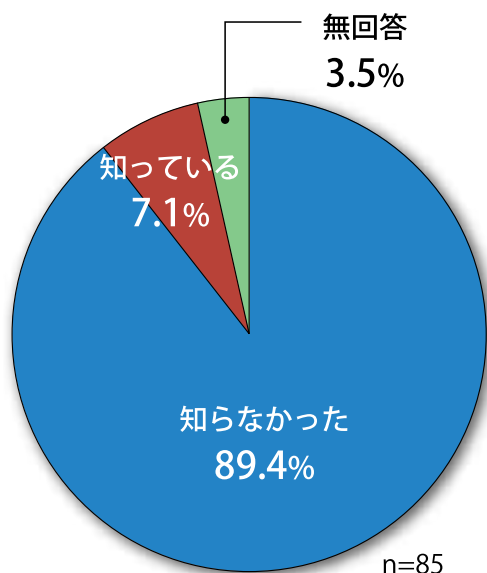


市民アンケートでわかった アルツハイマー病治療への熱い期待！

川崎臨海部のキングスカイフロントについて聞きました。

Q1

「キングスカイフロント*」を知っていますか？



ほとんどの人が「知らなかった」。
内容を伝えると、笑顔になった。

市民の声

- さらなるグローバル化を図ってほしい。
- 家族がアルツハイマーで、もう少しいい治療法があれば、と感じた。
- こういう研究をしていることを知り、うれしい。もっとやってくれ！
- こんなすばらしい研究をしているなら、もっと大々的にアピールして！
- 税金払ってよかった。自慢できる！
- 今後お世話になるかもしれないので、がんばって早く実用化してほしい。
- 重工業のイメージが強いけれど、川崎は“ものづくりのまち”だから違和感がない。
- キングスカイフロントに行ってみたい。イベント情報があれば教えて！

川崎市とどろきアリーナ（中原区等々力）で7月14日、「キングスカイフロント」をどの程度ご存じか、何を期待しているか、川崎市民85人にインタビュー形式でアンケートを行いました。

川崎臨海部の「キングスカイフロント」は、ライフサイエンス・環境分野での最先端の研究開発から新産業を創出する国際戦略拠点です。企業や研究機関が、互いの領域を超えてタッグを組むことで、これまでになかった高付加価値技術やサービスなどを生み出すイノベーション拠点の形成が進んでいます。

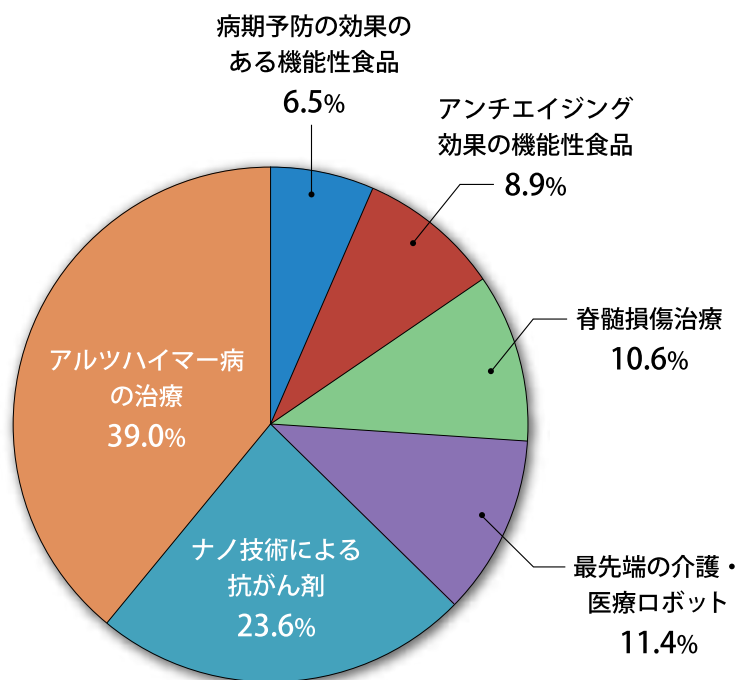
今回の取材では「ずっと住んでいて川崎が好き。いい取組なのにキングスカイフロントを知らなくてショック。もっとわかるようにしてほしい」など、多くの期待する声が寄せられました。

* キングスカイフロント：「Kawasaki INnovation Gateway」の頭文字と立地地域の「殿町」でKING+対岸の羽田空港に面しているからSKYFRONT

Q2

「キングスカイフロント」での研究内容で 関心があるものは？

どれも興味深い！
研究内容は身近な問題ばかり。



キングスカイフロントで行われている研究の中で、最も高い関心を集めたのが「アルツハイマー病の治療」(39.0%)です。

軽症者を含めた日本の認知症高齢者は2012(平成24)年時点で約462万人^(※)と推計されています。今後も増加が予測されており、誰にとっても非常に身近な問題であることがわかります。2014(平成26)年度中に運営がスタートする「(仮称)ものづくりナノ医療イノベーションセンター(iCoN)」では、脳神経疾患の革新的治療技術の開発を目指しています。

次いで関心が高かったのが「ナノ技術による抗がん剤」(23.6%)。日本人の死因トップであるがん。その治療法の一つである抗がん剤は、がん細胞以外の健康な細胞にも悪影響を及ぼし、さまざまな副作用を引き起こします。

キングスカイフロントでは、がん細胞のみを狙って攻撃し、正常な細胞へのダメージを最小限に抑え

る抗がん剤の開発を行っており、既に実用化が目前に迫っています。

この2つのほかにも、iPS細胞を活用した脊髄損傷治療や、病気予防効果のある機能性食品の研究など、世界が注目する、私たちに身近な先端医療の研究と、その研究成果を実際に社会で使えるようにするための取組が日々行われています。

取材に答えていただいた市民の皆さんからは、「(キングスカイフロントで行われている)すべての研究が身近な問題。どれも興味深い」という声や、「“ゴッドハンド”と呼ばれる医者と同じ技術力の医者をもう一人生み出すのは難しい。キングスカイフロントの研究開発によって、そうした課題が解決するのでは」「薬ではなく食品で病気の予防や治療ができれば、体への負担が軽減され良いと思う」などの声も寄せられました。

(※出典:平成24年度厚生労働科学研究費補助金「都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応」)



アンケートに協力してくれた川崎市民のみなさん



Kawasaki Innovation Leaders 1

大学や企業、研究機関がひとつ屋根の下に集う研究拠点「(仮称)ものづくりナノ医療イノベーションセンター」(以下iCoN、2014年度中運営開始予定)。どんな施設なのか、難病治療に革新をもたらす「ナノ医療」とは何か、聞きました。



木村廣道

公益財団法人 川崎市産業振興財団
「(仮称)ものづくりナノ医療イノベーションセンター」
プロジェクト統括

日本のオープン
イノベーションは
川崎から！
必ず実現します！

Q 世界から見て、川崎臨海部の魅力は？

A 米国のシリコンバレーが、なぜ新しいアイデアを次々と生みだしているのか？それは研究者同士の交流があるからです。イノベーションとは“When ideas have sex”(異なる考えが交わる時)に、新しい価値が生まれることなのです。異分野の科学・技術の専門家、さらには、投資家、マーケティング、規制・法律など幅広い専門家たちのコミュニティをつくることは新しい産業が生まれるのにとっても大切です。日本でそれができるのは、キングスカイフロントしかありません。すでに工場やライフサイエンス分野の研究所が集積し、横浜の研究所群も近い。近接する羽田空港から国内も海外も近い。物理的かつ時間的な「近さ」はコミュニティづくりに欠かせない魅力です。ここで研究者たちの交流を喚起し、日本発のオープンイノベーションを実現させます。

Q 来春完成するiCoNで目指すイノベーションとは？

A 目指しているのは「体内病院」。病院を極限まで小さくして、体内で自律的に検査・診断・治療をするナノマシンをつくる。酵素やコラーゲンなど、自然に存在する高分子の原料であるアミノ酸を自在に組み合わせたポリマーを人工的に設計して組み合わせてつくります。「病気を治す」から、健康な身体を保つシステムによって「病気になるない」へ。衣食住に「医」が加わるほどに、医療が生活の中に溶け込む時代は、それほど遠い先の話ではないかもしれません。例えば、スマホも最初は部屋に入りきれない大型機械から始まり、デスクトップ、持ち運びサイズ、ポケットサイズへと小型化して、メガネや腕時計などのウェアラブル端末へと進化しているように、医療の分野でも検査機器が小型化し、ウェアラブルに向かっています。その先にあるのが「体内病院」です。

Q 夢のある研究拠点ですね。川崎市民に開放する機会はありますか？

A 定期的に市民開放デーをつくって、講演会などを開いたり、将来的には、希望者には新しい診断技術などの実証試験にも参加していただくかもしれません。研究者自身、市民やメディアの皆さんと接することで新たな気づきやコミュニケーション能力を鍛えるチャンスが得られます。研究を応援して下さるファンを増やすことがイノベーションにもつながっていくのです。

カワサキにまつわる「数字」を、シリーズでお届けします！

数字? 数字? 数字?
6
Kawasaki Numbers

今回の数字は **800** メートル

正解は…「キングスカイフロントから羽田空港までの直線距離*」です



*川崎市川崎区殿町3丁目沿岸から京浜急行羽田空港国際ターミナル駅までを直線で結び計測した距離

キングスカイフロントがある川崎区殿町3丁目から、羽田空港国際線ターミナル駅まで歩くと約4・7km。しかし直線距離にすると、わずか800メートルしかありません！とても近いのです。このルート短縮を実現するのが、構想として進められている「キングスカイフロント」(羽田空港)を結ぶ連絡道路です。これにより、空の玄関口・羽田空港との距離がぐっと身近になり、国内外のアクセスが一層便利に。世界中の人々がキングスカイフロントに集い、私たちの暮らしに役立つイノベーションがより一層加速していくことは、間違いありません！

Topics 1

キングスカイフロント～羽田空港間に連絡道路整備の構想

羽田空港を玄関口とした国際ビジネス環境整備の一環として、キングスカイフロントと羽田空港を結ぶ連絡道路の整備構想がありますが、今年5月には、「早期整備に注力する意向を政府が示した」とする新聞報道がありました。

2010年の羽田空港国際線旅客ターミナル誕生によって、アジアをはじめとする訪日外国人客は大幅に増え、2014年4月の旅客実績では、外国人入国者が前年比51%増となっています(出典:東京入国管理局 出入国管理統計)。そしてこの連絡道路の整備により、キングスカイフロントに訪れる外国人研究者やビジネスマンの利便性がアップ。今後同エリアの「メルティング・ポット」化が進むことは間違いありません。世界の研究者たちが来訪しやすくなるこの地は、まさに「リーディング・エリア」となり、川崎市民のみならず、日本中、ひいては世界中の人々に役立つイノベーションが起こることが大いに期待できます。

Topics 2

海外向けWEBニュースレター、 『Kawasaki SkyFront i-Newsletter』創刊!

川崎市は、「キングスカイフロント」での研究内容を、海外を中心に国内外の研究者に伝えることを目的とした『Kawasaki SkyFront i-Newsletter』を創刊します。今年度3回発行予定で、「キングスカイフロント」に関係する研究者や論文を分かりやすく紹介しており、英語を中心に展開していきます。初回は慶應義塾大学の岡野栄之教授を特集し、世界初の脊髄損傷の治験開始などを取り上げます。

このニュースレターはWEB上に記事を掲載していきます。
詳しくは専用のウェブサイトへアクセスしてください。



URL: <http://inewsletter-king-skyfront.jp/>

Topics 3

キングスカイフロントの 活動を支えるエリア開発 大和ハウスが「A地区」を取得

2014年5月9日、大和ハウス工業株式会社(大阪府大阪市)が、キングスカイフロントのA地区(4万6172平方メートル)の土地を73億8759万円で取得しました。同地区は多摩川に面し、殿町第2公園にも接する環境に恵まれたエリア。研究施設等の誘致に加え、キングスカイフロントの更なる活性化を目指し、研究者たちの活動を支える、利便性向上・リフレッシュ機能や交流促進機能の導入も予定しています。

川崎市と同社は6月30日に「川崎市と大和ハウス工業株式会社によるキングスカイフロントのまちづくりに関する覚書」を締結いたしましたので、今後は相互に連携・協力して企業誘致活動に取り組んでいきます。



Topics 4

川崎市、サイバーダインと包括協定を締結

2014年6月18日、川崎市は医療・介護福祉用ロボットの開発・製造・販売を手がけるサイバーダイン株式会社(茨城県つくば市)と、包括協定を結びました。

同社は、装着することで肢体不自由な人の動作や機能を回復させることができる世界初のサイボーグ型ロボット「HAL(HAL)」を開発。今後は、同社と連携・協力し、HALをはじめとした革新的ロボット技術によって、健康、医療、介護、福祉などの地球規模の課題解決に貢献しながら、日本経済の発展を牽引していくことを目指します。

Topics 5

ジョンソン・エンド・ジョンソンがキングスカイフロントに進出 「東京サイエンスセンター」をオープン

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社メディカルカンパニーが、2014年8月6日、キングスカイフロントに「東京サイエンスセンター」を開業します。これは、同社が世界各国で展開する医療従事者向けの研究・トレーニング施設の一つで、外科手術シミュレーション装置や、遠隔映像カンファレンスシステムなど、先進的医療設備を備えています。

日本の医療従事者の手技や先進的な医療技術に関する知識の共有を目的に、国内外から年間1万人以上の利用者を見込んでいます。

日本の高度な医療技術や手技をグローバルに発信していく最先端拠点として取り組んでいきます。